

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 互惠会

特別養護老人ホーム サライ  
デイサービスセンター サライ

# 概況

## 1. 法人役員の選任解任動向

- ① 理事…理事7名のうち6名が6月20日に任期満了。4名が重任。2名が新任。計7名へ。
- ② 監事…2名とも6月20日で任期満了。1名が重任。1名が新任。
- ③ 評議員…今年度中の交代、変更はなし

## 2. 稼働率（資料「稼働率」参照）

### ① 稼働率実績

	実績	目標	目標比	前期比	前期実績
入所	95.9%	96.5%	△0.6%	+1.5%	94.4%
短期入所	102.9%	99.0%	+3.9%	△5.2%	108.1%
計	97.3%	97.0%	+0.3%	+0.2%	97.1%
通所	59.0%	63.4%	△4.4%	△2.2%	61.2%

#### ・ 入所

年間の目標稼働率には未達であるが、前期比+1.5%の稼働率を達成し、1年を通して高い稼働率で推移することができた。入所中に医療機関へ入院した延人数は年間766人。1日平均2.09人が入院し空床となっている。入院した期間も稼働日数に含めた場合の年間稼働率は98.5%。入院以外で空床となっている延べ日数は年間で426日あり、入院した期間のみが空床だったと仮定した場合の年間稼働率は97.3%となるため、入院以外の空床日数を如何に減らすかという課題が今期においても解消されず残っている。しかしながら、今期においては、退所が確定する前にあらかじめ次の入所者を選考するなどの施策を行った結果、入所者が退所してから次の入所者が入所するまでの平均空床日数は21.85日となり、最長41日、最短2日の空床日数で次の入所者が入所し、空床日数は大幅に減少した。また、空床の部屋を短期入所で効率よく利用したため、短期入所も含めた特養全体の稼働率においては、97.3%の稼働率を記録し、目標比+0.3%、前期比+0.2%と高い稼働率を記録することができた。

#### ・ 短期入所

年間の目標稼働率を超える稼働率を達成したが、前期の年間稼働率を超える稼働率を記録することはできなかった。しかしながら、1年間全ての月で目標稼働率を超える稼働率達成し、年間を通して安定した高い稼働率で推移することができた。また、特養入所者の入院などで空床となった部屋を、短期入所で効率よく利用したことで、毎月100%を超える高稼働率を達成することができた。高稼働率達成の要因は、特養の空床部屋を効率よく利用したことに加え、比較的利用日数が長い利用者と定期利用する利用者とのスケジュール調整を適切に行うことで、空床ができないようなスケジュール管理ができたことにより成し遂げられたといえる。

#### ・ 通所

年間の目標稼働率を達成することはできず、前期の稼働率よりも年間で2.2%低い稼働率となった。単月においては、8月と9月に前期同月の稼働率を超える稼働率を記録しており、9月においては月間の目標稼働率を上回る稼働率を記録するなど、年間を通すと前期の稼働率よりも低い稼働率であるが、前期の稼働率の水準を大幅に落とすことなく、1年間推移したといえる。新規利用契約者は20人。利用契約者数は総合事業利用者も含め月平均55人で推移しており、月による上下はあるが、利用者の新規契約は年間を通じて安定して行っており、利用契約者数の水準は維持できている。総合事業利用者も含めた利用者1人あたりの月平均利用日数は8.53日となっている。

### 3. 収益状況

#### ① 事業活動収支

サービス活動収益（売上高） 595,437千円（前年度比 +8,393千円） ※過去最高額  
サービス活動増減差額（営業利益） 7,660千円（前年度比 △29,707千円）  
経常増減差額（経常利益） △4,910千円（前年度比 △29,292千円）  
当期活動増減差額（当期純利益） △4,910千円（前年度比 △29,292千円）

年間を通して高い稼働率で推移したこと、10月の介護報酬の基本額の増額改定や新設された介護職員等特定処遇改善加算の算定などにより、介護報酬の収益計上が増加し、サービス活動収益は過去最高額を計上することができた。人件費は、職員数の増加と介護職員等特定処遇改善加算による給与支給額の増額に加え、今期は高額な退職金12,000千円の支払いが発生したことなどにより、前期よりも29,247千円の増加となった。事業費においては、ガス代および水道代が年間を通して増えたことで水道光熱費が前期よりも1,325千円増加し、事業費は1,880千円増加した。事務費においては、給食業者への委託料が増額したことなどで、業務委託費が前期よりも1,617千円増加。期初の計画であったエレベータの定期部品交換や居室エアコンの洗浄などにより修繕費が前年よりも6,063千円増加し、事務費は8,626千円増加した。また、費用が増えている原因としては、10月に行われた消費税増税の影響も受けている。サービス活動増減差額は、サービス活動収益が前期よりも8,393千円増加したにもかかわらず、サービス活動費用が前期よりも38,101千円増加したため、前期よりも△29,707千円である7,660千円の計上にとどまった。サービス活動外費用において、支払利息が12,721千円の計上され、最終的な利益である当期活動増減差額は△4,910千円とのマイナス計上となったが、今期発生した退職金約12,000千円の計上が結果的に当期活動増減差額がマイナスとなった原因であり、この退職金は今期のみ発生するものであるため、当期活動増減差額がマイナスとなるのは今期に限ったことであるといえる。結果、期末繰越活動増減差額は前年度末よりもマイナス計上が増え△223,609千円となった。

#### ② 資金収支

当期資金収支差額 △14,510千円（前年度比 △20,486千円）  
事業活動収支差額 25,956千円（前年度比 △25,451千円）  
施設整備等資金収支差額 △38,316千円（前年度比 +3,257千円）  
その他の活動資金収支差額 △2,150千円（前年度比 △1,707千円）

事業活動をした結果残った資金額を表す事業活動資金収支差額が、今期は25,956千円の計上となっているが、その事業活動資金収支差額の25,956千円の資金額だけでは、施設整備のための借入金の返済額である36,149千円を今期においては全額賄うことができない。ただし、今期計上した事業活動による支出の中には、今期のみ計上された退職給付支出の約12,000千円の計上が含まれているため、今期のみ計上されたその支出が無かったと仮定すると、事業活動資金収支差額は37,956千円となり、施設整備のための借入返済額の36,149千円も全額賄うことができる。施設開所以来借入と返済を繰り返し行っている運転資金の返済支出については、事業活動資金収支差額で計上される額では賄うことができないため、運転資金の借入金返済を行うためには、新たに借入を行い、その返済に充てなければならないという状況は今年度も継続している。来年度以降もしばらくは金融機関から長期で運転資金の借入を行い、その返済に充てなければならない状況は続く見込みである。当期末支払資金残高は79,296千円で、介護報酬2か月分の額よりも少し不足しているが、以前行っていた介護報酬のファクタリングや役員などの個人からの短期借入をしなくても資金が不足することはなく、支払資金の確保はできており、資金収支上健全化されてきている。

#### ③ 借入金

金融機関からの借入金期末残高 208,349千円（前年度末比 △722千円）  
設備資金の借入金期末残高 480,583千円（前年度末比 △36,149千円）  
役員など個人からの借入金期末残高 2,860千円（前年度末比 △1,428千円）  
当座貸越借入金期末残高 10,000千円（前年度末比 +10,000千円）

今年度、金融機関から新規で借入をした長期借入金は、きらぼし銀行の31,510千円（借入額110,000千円、借換返済額78,490千円）、静岡銀行の20,000千円、商工中金の10,524千円（借入額44,000千円、借換返済額33,480千円）で計62,030千円。金融機関から借入した運転資金の今期の年間返済額は62,752千円のため、年度末時点での運転資金の借入金残高は微減している。設備資金の借入金に関しては、返済は着実に行われており、今期も計画通り36,149千円の返済が行われた。また、役員からの長期借入金に関しても、計画通り1,428千円の返済が行われ、着実に借入残高が減ってきている。静岡銀行の当座貸越に関しては、70,000千円の枠内で期中において借入と返済を繰り返し行い有効に活用しているが、今期末時点においては10,000千円の残高が残っている。

## 4. 今年度の総括、取組み

### ① 施設長の交代

サライ開所から施設長を務めていた初代施設長が6月30日で辞任  
7月1日から新施設長で運営。

### ② 職員の状況

今年度 離職者は10名。 入職者は17名。 職員数が増加し期末時点では概ね充足。  
→ 特養介護職の常勤率96.6%、介護福祉士率82.8%  
今年度入職し、今年度中に退職した職員が5名。定着させることに課題。

### ③ 職場環境の改善 = 働きやすい職場づくり 継続中

- ・スキルアップシートによる職員個人の目標設定と目標の明確化
- ・定期昇給の継続実施、特定処遇改善加算の新規取得 → 職員定着率の向上へ
- ・賞与支給率の確保 前年度 3.9ヶ月 → 今年度 も同率
- ・定時退勤の奨励と有給休暇完全取得への働きかけ

### ④ 感染症対策

- ・感染委員会による感染症予防施策の徹底と職員個人の感染予防に対する意識の向上  
→ 施設内での感染症大規模発生なし
- ・インフルエンザ感染者 . . . 入所者0名、職員2名のみ
- ・年度末ごろから新型コロナウイルス感染症が流行。今後の動きに注視。

### ⑤ 相談・支援部門の強化と業務の効率化

- ・介護支援専門員2名体制の継続。
- ・生活相談員も2名体制へ  
→ 相談・支援部門の充実化を図り、安定した運営を行う  
→ 人員増による業務効率化、ロスの削減

### ⑥ 部署間、職種間の垣根を超えた協力体制の構築 継続中

- ・介護職と看護職の連携強化
- ・介護職員不足時における他部署からの協力体制

### ⑦ 地域貢献の推進及び社会的弱者への貢献活動

- ・地域貢献 . . . 地域のボランティアの受入、地域の保育園、中学校との協力
- ・就労支援事業の受託  
相模台クリニック（アンダンテ） . . . 精神障害者の就労支援への協力 継続
- ・障害者雇用 . . . 障害者雇用の実現（今年度1名）  
→ トライアル雇用を経て、今年度本採用（非常勤）
- ・実習生の受入 . . . 社会福祉士資格取得実習生、教職課程大学生の介護体験
- ・高齢者の就労機会の創出 . . . 定年退職となった職員を嘱託職員として継続雇用  
（年度末時点5名在籍）
- ・施設内敷地の有効活用 . . . 太陽光発電を本棟屋上に提供 平成26年度より継続（町田ガス）

# 1. 稼働率

## 【入所】

### 令和元年度

年月	目標			実績					目標比			達成率
	計	入所	短期入所	計		入所		短期入所	計	入所	短期入所	対目標
定員	100名	80名	20名	(含入院)		(含入院)						
H31年4月	97.0%	96.5%	99.0%	99.7%	97.1%	97.4%	94.1%	108.8%	+0.1%	-2.4%	+9.8%	100.1%
R1年5月	97.0%	96.5%	99.0%	98.5%	95.6%	98.0%	94.4%	100.5%	-1.4%	-2.1%	+1.5%	98.6%
6月	97.0%	96.5%	99.0%	98.5%	94.8%	97.8%	93.2%	101.3%	-2.2%	-3.3%	+2.3%	97.8%
7月	97.0%	96.5%	99.0%	97.0%	96.1%	95.9%	94.7%	101.6%	-0.9%	-1.8%	+2.6%	99.1%
8月	97.0%	96.5%	99.0%	99.9%	98.4%	99.4%	97.5%	102.1%	+1.4%	+1.0%	+3.1%	101.4%
9月	97.0%	96.5%	99.0%	99.1%	98.1%	98.6%	97.3%	101.2%	+1.1%	+0.8%	+2.2%	101.1%
10月	97.0%	96.5%	99.0%	99.5%	97.8%	97.5%	95.4%	107.6%	+0.8%	-1.1%	+8.6%	100.8%
11月	97.0%	96.5%	99.0%	100.4%	97.9%	99.2%	96.1%	105.0%	+0.9%	-0.4%	+6.0%	100.9%
12月	97.0%	96.5%	99.0%	100.3%	98.7%	100.0%	98.1%	101.3%	+1.7%	+1.6%	+2.3%	101.8%
R2年1月	97.0%	96.5%	99.0%	100.1%	98.1%	99.9%	97.4%	100.8%	+1.1%	+0.9%	+1.8%	101.1%
2月	97.0%	96.5%	99.0%	100.4%	98.4%	99.9%	97.4%	102.4%	+1.4%	+0.9%	+3.4%	101.4%
3月	97.0%	96.5%	99.0%	99.5%	96.9%	98.9%	95.6%	101.9%	-0.1%	-0.9%	+2.9%	99.9%
年合計												
年平均	97.0%	96.5%	99.0%	99.4%	97.3%	98.5%	95.9%	102.9%	+0.3%	-0.6%	+3.9%	100.3%

## 【通所】

### 令和元年度

年月	目標				実績					目標比			達成率(%)	営業日数
	30名定員稼働率(%)	計	通所介護利用者数	予防通所契約者数	30名定員稼働率(%)	計	通所介護利用者数	予防通所契約者数	通所介護契約者数	計	通所介護利用者数	予防通所契約者数	対目標	
H31年4月	61.7%	482人	478人	4人	60.8%	474人	470人	4人	51人	-8人	-8人	±0人	98.3%	26日
R1年5月	62.0%	503人	499人	4人	59.5%	482人	479人	3人	51人	-21人	-20人	-1人	95.8%	27日
6月	62.2%	467人	463人	4人	57.7%	433人	429人	4人	48人	-34人	-34人	±0人	92.7%	25日
7月	62.5%	507人	503人	4人	57.0%	462人	457人	5人	49人	-45人	-46人	+1人	91.1%	27日
8月	62.9%	510人	506人	4人	62.0%	502人	497人	5人	52人	-8人	-9人	+1人	98.4%	27日
9月	63.3%	475人	471人	4人	65.7%	493人	488人	5人	54人	+18人	+17人	+1人	103.8%	25日
10月	63.7%	516人	512人	4人	61.1%	495人	489人	6人	55人	-21人	-23人	+2人	95.9%	27日
11月	63.9%	499人	495人	4人	59.9%	467人	462人	5人	51人	-32人	-33人	+1人	93.6%	26日
12月	64.2%	462人	458人	4人	55.0%	396人	392人	4人	47人	-66人	-66人	±0人	85.7%	24日
R2年1月	64.5%	464人	460人	4人	53.8%	387人	383人	4人	50人	-77人	-77人	±0人	83.4%	24日
2月	64.8%	486人	482人	4人	59.9%	449人	446人	3人	56人	-37人	-36人	-1人	92.4%	25日
3月	65.0%	507人	503人	4人	55.5%	433人	431人	2人	49人	-74人	-72人	-2人	85.4%	26日
年合計	63.4%	5878人	5830人	48人	59.0%	5473人	5423人	50人	613人	-405人	-407人	+2人	93.1%	309日
年平均	63.4%	490人	486人	4人	59.0%	456人	452人	4人	51人	-34人	-34人	±0人	93.0%	

目標年平均稼働率= 64.4%

2. 特別養護老人ホームサライの状況

① 入退所者の状況

入所

No.	氏名	性別	年齢	入所年月日	介護度	保険者
1	A 様	女性	81歳	H31. 4. 1	要介護4	座間市
2	K 様	男性	85歳	H31. 4. 10	要介護4	座間市
3	M 様	男性	96歳	H31. 4. 22	要介護5	座間市
4	K 様	女性	90歳	R1. 5. 13	要介護3	座間市
5	A 様	女性	94歳	R1. 5. 29	要介護3	座間市
6	T 様	女性	93歳	R1. 6. 26	要介護4	座間市
7	T 様	女性	87歳	R1. 7. 17	要介護4	座間市
8	Y 様	女性	92歳	R1. 7. 17	要介護4	座間市
9	K 様	男性	85歳	R1. 7. 24	要介護4	座間市
10	S 様	女性	99歳	R1. 7. 24	要介護4	座間市
11	K 様	男性	83歳	R1. 8. 7	要介護5	座間市
12	F 様	女性	94歳	R1. 8. 7	要介護3	大和市
13	T 様	女性	84歳	R1. 9. 18	要介護5	座間市
14	T 様	女性	79歳	R1. 10. 9	要介護5	座間市
15	S 様	女性	93歳	R1. 10. 16	要介護5	座間市
16	H 様	女性	95歳	R1. 10. 30	要介護3	座間市
17	O 様	男性	86歳	R1. 11. 20	要介護4	座間市
18	K 様	女性	94歳	R2. 1. 8	要介護4	座間市
19	T 様	女性	80歳	R2. 2. 19	要介護4	相模原市
20	K 様	女性	87歳	R2. 3. 25	要介護5	座間市
21	M 様	男性	92歳	R2. 3. 31	要介護4	町田市
22	W 様	女性	88歳	R2. 3. 31	要介護3	座間市

入所者数 22名 (男性6名 女性16名 平均年齢 88.95歳 平均要介護度 4.04 座間市比率 86.3%)

(30年度20名 29年度22名 28年度16名 27年度23名 26年度44名 25年度15名)

退所

No.	氏名	性別	年齢	入所年月日	退所年月日	在所日数	退所理由
1	K 様	女性	91歳	H29. 4. 19	H31. 4. 1	713日	入院先にて死亡のため
2	A 様	男性	65歳	H30. 11. 27	H31. 4. 2	127日	入院のため
3	I 様	男性	94歳	H30. 11. 14	H31. 4. 25	163日	入院のため
4	U 様	女性	87歳	H30. 11. 28	R1. 5. 22	176日	入院先にて死亡のため
5	S 様	女性	83歳	H31. 1. 23	R1. 6. 9	138日	入院のため
6	H 様	男性	77歳	H26. 1. 7	R1. 6. 25	1,996日	入院先にて死亡のため
7	H 様	女性	100歳	H20. 6. 10	R1. 6. 27	4,035日	入院のため
8	S 様	女性	78歳	H22. 2. 12	R1. 7. 1	3,427日	入院先にて死亡のため
9	K 様	女性	95歳	H22. 8. 13	R1. 7. 10	3,254日	入院先にて死亡のため
10	K 様	女性	81歳	H29. 7. 5	R1. 7. 27	753日	入院のため
11	S 様	男性	79歳	H29. 3. 8	R1. 8. 28	904日	入院のため
12	T 様	女性	93歳	R1. 6. 26	R1. 9. 13	80日	入院のため
13	I 様	女性	73歳	H24. 1. 11	R1. 10. 1	2,821日	入院先にて死亡のため
14	M 様	女性	93歳	H29. 10. 31	R1. 10. 5	705日	入院先にて死亡のため
15	M 様	男性	96歳	H31. 4. 22	R1. 10. 15	177日	入院のため
16	Y 様	女性	83歳	H26. 4. 1	R2. 1. 6	2,107日	入院先にて死亡のため
17	O 様	女性	93歳	H28. 1. 27	R2. 2. 16	1,482日	入院のため
18	H 様	女性	85歳	H24. 3. 12	R2. 3. 16	2,927日	入院のため
19	N 様	男性	90歳	H30. 2. 19	R2. 3. 16	757日	入院のため
20	F 様	女性	83歳	H26. 7. 1	R2. 3. 26	2,096日	在宅復帰

退所者数 20名 (男性 6名 女性 14名 平均年齢 85.9歳 平均在所日数 1,441.9日)

(30年度22名 29年度19名 28年度18名 27年度18名 26年度17名 25年度18名)

② 要介護度別状況

入所 (令和元年度 年間入所者実数)

特養 入所者実数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	1人	2人	6人	8人	17人	4.24
女性	2人	5人	19人	27人	30人	83人	3.94
計	2人	6人	21人	33人	38人	100人	3.99

(平均要介護度: 30年度3.96 29年度3.93 28年度3.87 27年度3.86 26年度4.00 25年度4.26 24年度4.08)

要介護度4・5比率 = 71.0%

(30年度66.7% 29年度68.8% 28年度64.9% 27年度62.0% 26年度69.3% 25年度83.0% 24年度60.8%)

入所 (令和元年度 年間入所者延数)

特養 入所者延数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	366人	833人	1,236人	1,451人	3,886人	3.97
女性	765人	1,186人	6,478人	7,263人	8,510人	24,202人	3.89
計	765人	1,552人	7,311人	8,499人	9,961人	28,088人	3.90

要介護度4・5比率 = 65.7%

短期入所 (令和元年度 年間利用者実数)

短期入所 利用者実数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	0人	3人	6人	11人	5人	9人	34人	3.32
女性	0人	0人	8人	10人	20人	20人	11人	69人	3.23
計	0人	0人	11人	16人	31人	25人	20人	103人	3.26

要介護度4・5比率 = 43.7%

短期入所 (令和元年度 年間利用者延数)

短期入所 利用者延数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	0人	57人	45人	1,238人	153人	344人	1,837人	3.37
女性	0人	0人	312人	608人	2,621人	1,524人	627人	5,692人	3.27
計	0人	0人	369人	653人	3,859人	1,677人	971人	7,529人	3.30

要介護度4・5比率 = 35.2%

通所 (令和元年度 年間利用者実数)

通所 利用者実数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	11人	8人	5人	2人	3人	29人	2.24
女性	9人	15人	10人	7人	4人	45人	2.60
計	20人	23人	15人	9人	7人	74人	2.46

要介護度4・5比率 = 21.6%

通所 (令和元年度 年間利用者延数)

通所 利用者延数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	560人	581人	396人	56人	139人	1,732人	2.21
女性	550人	1,499人	1,037人	403人	202人	3,691人	2.51
計	1,110人	2,080人	1,433人	459人	341人	5,423人	2.42

要介護度4・5比率 = 14.8%

第一号通所事業 (令和元年度 年間利用者実数)

第一号通所事業 利用者実数	要支援 1	要支援 2	計	平均 要支援度
男性	1人	0人	1人	1.00
女性	0人	4人	4人	2.00
計	1人	4人	5人	1.80

第一号通所事業 令和元年度 年間利用者延数)

第一号通所事業 利用者延数	要支援 1	要支援 2	計	平均 要支援度
男性	23人	0人	23人	1.00
女性	0人	248人	248人	2.00
計	23人	248人	271人	1.92

③ 保険者別人員状況

入所 (令和元年度 年間入所者実数)

特養 入所者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	16人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	17人
女性	63人	4人	8人	2人	0人	1人	5人	83人
計	79人	4人	8人	2人	0人	1人	6人	100人

座間市比率 = 79.0%

(30年度78.2% 29年度76.3% 28年度76.6% 27年度70.9% 26年度64.0% 25年度59.6% 24年度72.5%)

入所 (令和元年度 年間入所者延数)

特養 入所者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	3,885人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	3,886人
女性	19,623人	820人	1,989人	319人	0人	353人	1,098人	24,202人
計	23,508人	820人	1,989人	319人	0人	353人	1,099人	28,088人

座間市比率 = 83.7%

短期入所 (令和元年度 年間利用者実数)

短期入所 利用者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	31人	1人	0人	2人	0人	0人	0人	34人
女性	57人	0人	5人	5人	0人	1人	1人	69人
計	88人	1人	5人	7人	0人	1人	1人	103人

座間市比率 = 85.4%

短期入所 (令和元年度 年間利用者延数)

短期入所 利用者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	1,571人	94人	0人	172人	0人	0人	0人	1,837人
女性	4,580人	0人	362人	480人	0人	54人	216人	5,692人
計	6,151人	94人	362人	652人	0人	54人	216人	7,529人

座間市比率 = 81.7%

通所、第一号通所事業（令和元年度 年間利用者実数）

利用者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	26人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	30人
女性	40人	1人	2人	3人	1人	1人	1人	49人
計	66人	2人	3人	3人	2人	2人	1人	79人

座間市比率 = 83.5%

通所、第一号通所事業（令和元年度 年間利用者延数）

利用者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	1,575人	46人	31人	0人	101人	2人	0人	1,755人
女性	3,315人	8人	80人	347人	103人	51人	35人	3,939人
計	4,890人	54人	111人	347人	204人	53人	35人	5,694人

座間市比率 = 85.9%

④ 居住費・食費 利用者負担区分状況（令和元年度年間）

(実人数)	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	計	第4段階比率
入 所	1人	15人	47人	37人	100人	37.0%
短期入所	1人	11人	28人	63人	103人	61.2%
計	2人	26人	75人	100人	203人	49.3%

(延人数)	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	計	第4段階比率
入 所	92人	3,937人	13,523人	10,536人	28,088人	37.5%
短期入所	122人	1,496人	2,113人	3,798人	7,529人	50.4%
計	214人	5,433人	15,636人	14,334人	35,617人	40.2%

### 3. 職員の状況

#### ①部門別人員（令和2年3月31日現在）

	常勤	非常勤	嘱託	計	休職(欠勤)	短時間勤務	非常勤 (常勤換算)	(常勤換算) 計	前期末比	男	女
介護部門	52	1	2	55	1.0	-0.2	0.70	53.50	+4.80	21	34
看護部門	5	1	1	7			0.40	6.40	+0.20	0	7
相談支援部門	4	0	0	4				4.00	+1.00	2	2
事務部門	2	2	2	6		-0.4	0.65	4.25	-1.35	2	4
特養 計	63	4	5	72	1.0	-0.6	1.75	68.15	+4.65	25	47
デイサービス部門	6	1	0	7			0.50	6.50	+0.30	2	5
職員 計	69	5	5	79	1.0	-0.6	2.25	74.65	+4.95	27	52
施設長	1			1				1.00	±0.00	1	0
計	70	5	5	80	1.0	-0.6	2.25	75.65	+4.95	28	52

#### ②資格別人員（令和2年3月31日現在）

##### <介護部門>

	常勤	非常勤	嘱託	計	休職(欠勤)	短時間勤務	(常勤換算)	(常勤換算) 計	前年比
介護福祉士	47	0	1	48	1			47.0	+11.0
介護福祉士実務者研修修了者	1	0	0	1				1.0	-5.0
介護職員初任者研修修了者	1	0	1	2		-0.2		1.8	-1.2
介護支援専門員	2	0	0	2				2.0	+1.0
社会福祉主事任用資格	1	0	0	1				1.0	±0.0
計	52	0	2	54	1	-0.2	0.0	52.8	+6.8
資格なし	3	1	0	4			0.7	3.7	±0.0
合計	55	1	2	58	1	-0.2	0.7	56.5	+6.8

介護福祉士率 82.8% (H30年度74.4%、H29年度65.8%、H28年度67.3%、H27年度66.1%、H26年度62.2%)

常勤率 96.6% (H30年度98.0%、H29年度94.5%、H28年度96.2%、H27年度90.9%、H26年度91.1%)

##### <介護部門以外>

	常勤	非常勤	嘱託	計	休職(欠勤)	短時間勤務	(常勤換算)	(常勤換算) 計	前年比
介護支援専門員	5	1	0	6			0.4	5.4	±0.0
介護福祉士	10	0	0	10				10.0	±0.0
社会福祉士	2	0	0	2				2.0	±0.0
社会福祉主事任用資格	2	0	0	2				2.0	±0.0
施設長資格認定	1	0	0	1				1.0	-1.0
看護師	6	1	0	7			0.4	6.4	+1.0
准看護師	0	0	1	1				1.0	-1.0
管理栄養士	1	0	0	1				1.0	+1.0

③入退職状況（令和元年度 年間）

	入職者				退職者				増減
	常勤	非常勤	嘱託	計	常勤	非常勤	嘱託	計	
介護部門	10	1	0	11	6	1	0	7	+4
看護部門	1	0	0	1	1	0	0	1	±0
相談支援部門	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
事務部門	0	1	1	2	0	0	0	0	+2
特養 計	11	2	1	14	7	1	0	8	+6
デイサービス部門	2	1	0	3	2	0	0	2	+1
職員 計	13	3	1	17	9	1	0	10	+7